

令和6年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ネギハモグリバエ（ネギ・ラッキョウ）

令和6年11月5日
鳥取県病害虫防除所

1 対象病害虫
ネギハモグリバエ

(1) 発生状況

10月29日の巡回調査の結果、県西部ネギほ場において、ネギハモグリバエの発生量はやや多かった。また、県中部ネギほ場および県東部ラッキョウほ場においても発生が確認されている。

(2) 向こう1ヶ月の気象予報から、今後、食害被害が増加することが懸念される。また、現在被害の多いほ場では多くの蛹が越冬し、来春の発生量が増加することが懸念される。

2 情報の根拠

表1 ネギハモグリバエの発生状況(10月下旬)

調査地点	合計調査ほ場数	発生ほ場率		発生株率	平均被害程度	
			平年値 ^{a)}		本年値	平年値 ^{a)}
西部	10	100%	44.0%	34.4%	12.0	3.6

a)H26～R5の10月下旬調査の平年値を示す

3 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場内をよく観察し、被害が見られた場合には病害虫防除指針等を参照し直ちに防除を行う。
- (2) 被害葉及び収穫残さは、二次被害源もしくは翌年の発生源となるため、ほ場内に放置せず適切に処分する。



図 ネギハモグリバエ (左：被害発生ほ場、中：幼虫の食害、右：成虫)